

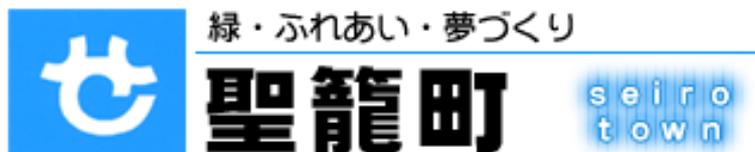
平成25年度活動支援申請書

会 員 名	新潟県 聖籠町		
活 動 名	聖籠マリンフェスタ～聖籠海まつり～		
主 催 者	聖籠マリンフェスタ実行委員会（聖籠町、NPO法人海レクサポートせいろう、聖籠町商工会、聖籠町観光協会）		
申 請 者	所属	聖籠町役場 東港振興室	TEL 0254-27-2111(代表)
	氏名	主事 渡辺 新吾	E-mai higasiko@town.seiro.niigata.jp
実 施 時 期	シンポジウム ⇒ 平成25年7月6日(土) マリンフェスタ ⇒ 平成25年7月15日(月)		
予定実施規模	シンポジウム ⇒ 約500人 マリンフェスタ ⇒ 約2000人		
予定実施事業費	シンポジウム ⇒ 750,000円 マリンフェスタ ⇒ 5,250,000円		
活 動 概 要	活 動 全 般		
	新潟東港が着工から50周年を迎えたことから、港と地域の宝を活かした町おこしや 港の歴史と今後の在り方について、地域住民と共に改めて考える場としてシンポジウムを開催。 また、昨年から開催した「聖籠海まつり」のイベント企画を更に充実させ、新たなにぎわいの核として マリンスポーツ・マリンレジャーを盛り込み、域内外の交流促進と町おこしを図る。		
	<シンポジウム> 記念講演 ⇒ (仮)港や地域の宝を活かした町おこし パネルディスカッション ⇒ (仮)新潟東港の歴史と将来の在り方を考える		
	<聖籠マリンフェスタ> ウォーターシャトルクルージング、防波堤釣り体験、船釣り体験、地曳網体験、砂浜宝探し大会 セーリング乗船体験、グルメ屋台、ステージイベント 同時開催として、国土交通省主催の船上みなと見学会、日本スタンドアップパドルボード協会公認の 日本海せいろうスタンドアップパドルボードコンテストを開催		
	他の会員の参考となる新しい試み		
	○地域住民とともに「みなとを核とした町おこし」を考える機会を創出し、 観光振興の機運醸成を図る。		
活動に対するPR方法	聖籠町ホームページ、NPO法人ホームページ、広報誌、新聞への記事掲載、フリーペーパー チラシ配付・ポスター掲示		
他の会員の活動への反映	マリンレジャー・マリンスポーツを核としたにぎわい創出という観点において、 他の会員においても同様の企画が可能と考える。		
会員相互の連携	他地域の名産品・特産品の物販も今後可能と考える。		
上記以外に期待できること	域外からの集客に伴う消費活動において、聖籠町への経済波及効果も見込まれる。		

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク 活動支援報告

- 【聖籠マリンフェスタ ～聖籠海まつり～】
- ・新潟東港整備着手50周年記念シンポジウム
- ・海洋レクリエーション体験・参加型イベント

平成25年10月3日

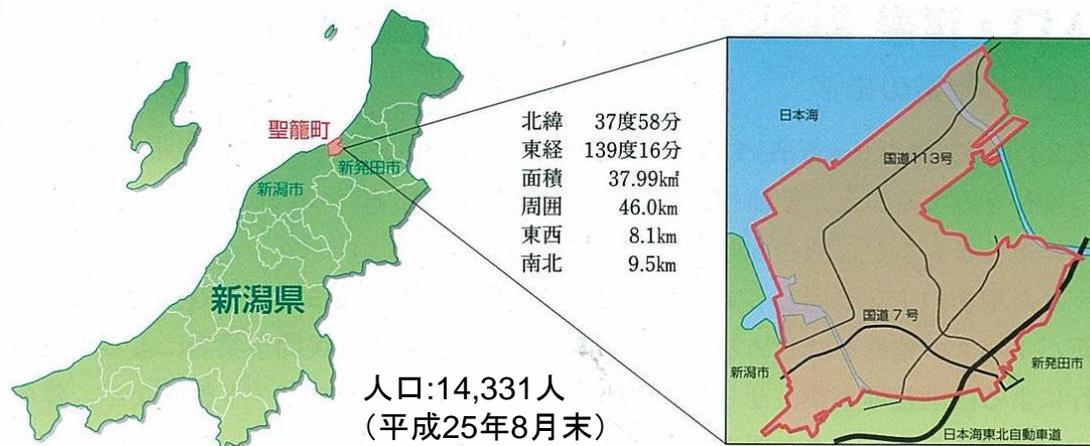


新潟港(東港区)と聖籠町

・聖籠町は、国際拠点港湾 新潟港(東港区)中央水路を境界にし、政令都市新潟市の北側に隣接。

・新潟東港工業地帯は、聖籠町行政区面積の約25%を占め、製造業などを中心に200社を超える企業が立地。

・農村的雰囲気が残る「農村機能」と工業地帯などによる都市化が進展した「都市機能」が共存する町。



聖籠マリンフェスタ～聖籠海まつり～の概要

イベント名	新潟東港整備着手50周年記念シンポジウム	聖籠マリンフェスタ (海洋レクリエーション体験・参加型イベント)
主催者	聖籠マリンフェスタ実行委員会 (聖籠町／NPO法人海レクサポートせいろう／聖籠町商工会／聖籠町観光協会)	
協賛・協力・後援等	協賛:新潟東港聖籠地区立地企業連絡協議会 協力:国土交通省北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所／新潟県／一般社団法人新潟港振興協会 一般社団法人ウォーターフロント協会／聖籠町漁業協同組合 後援:聖籠町教育委員会／聖籠町行政区長会	
実施日時	平成25年7月6日(土) 15:00～17:30	平成25年7月15日(月) 海の日 10:00～20:00
実施場所	聖籠町町民会館(文化会館)	聖籠町海のにぎわい館及びその周辺
集客人数	約300人(定員:先着500人)	約3,000人(内訳:町内 800人、町外2,200人) うち体験イベント参加者数 約400人
実施事業費	約700,000円	約5,000,000円
実施概要	<p>新潟東港の整備着手から50周年を迎えたため、新潟東港の発展の歴史を振り返るとともに、日本海側拠点港の選定を受け今後期待される役割や、港湾を通じた地域振興等について町民他と共に考える場として開催</p> <p>第1部 記念講演 伊勢みずほ さん(フリーアナウンサー) 演題:みずほが考える ～聖籠の港や地域の宝を活かした町おこし～</p> <p>第2部 パネルディスカッション 新潟東港 築港の歴史と将来の在り方を考える</p>	<p>網代浜港湾緑地で供用を開始した海洋レクリエーション交流拠点施設「聖籠町海のにぎわい館」他を通じ、新たな賑わいの核を創出し、地域内外の交流を促進することにより地域活性化を図るため開催</p> <p><イベント内容> ○ウォーターシャトルクルージングin東港 ○地曳網体験 ○砂浜宝探し大会 ○船釣り体験 ○防波堤釣り体験 ○セーリング体験 ○ステージイベント ○グルメ屋台村 他 同時開催:船上みなと見学会(国土交通省主催) 日本海せいろうSUPコンテスト (日本SUP協会公認)</p>

新潟東港整備着手50周年記念シンポジウム

事業の目的

新潟東港の発展の歴史を振り返るとともに、日本海側拠点港の選定を受け今後期待される役割をはじめ、新潟東港や地域資源を活かした町おこし(海洋レクリエーション施設等を活用した地域活性)等について、地域住民と共に改めて考え、町おこしに関する機運醸成を図るため開催。

2013年7月6日(土)

時間 / 15:00~17:30 ※開場:14:00

場所 / 聖籠町 町民会館(文化会館)

参加費 / 無料

募集人数 / 500名(当日会場へ先着順)



第1部
記念講演

演題:みずほが考える
～聖籠の港や地域の宝を活かした町おこし～

講演者:伊勢みずほ さん

宮城県仙台市出身 フリーアナウンサー(元BSNアナウンサー)

第2部

【パネルディスカッション】

テーマ

「新潟東港 築港の歴史と将来のあり方を考える」

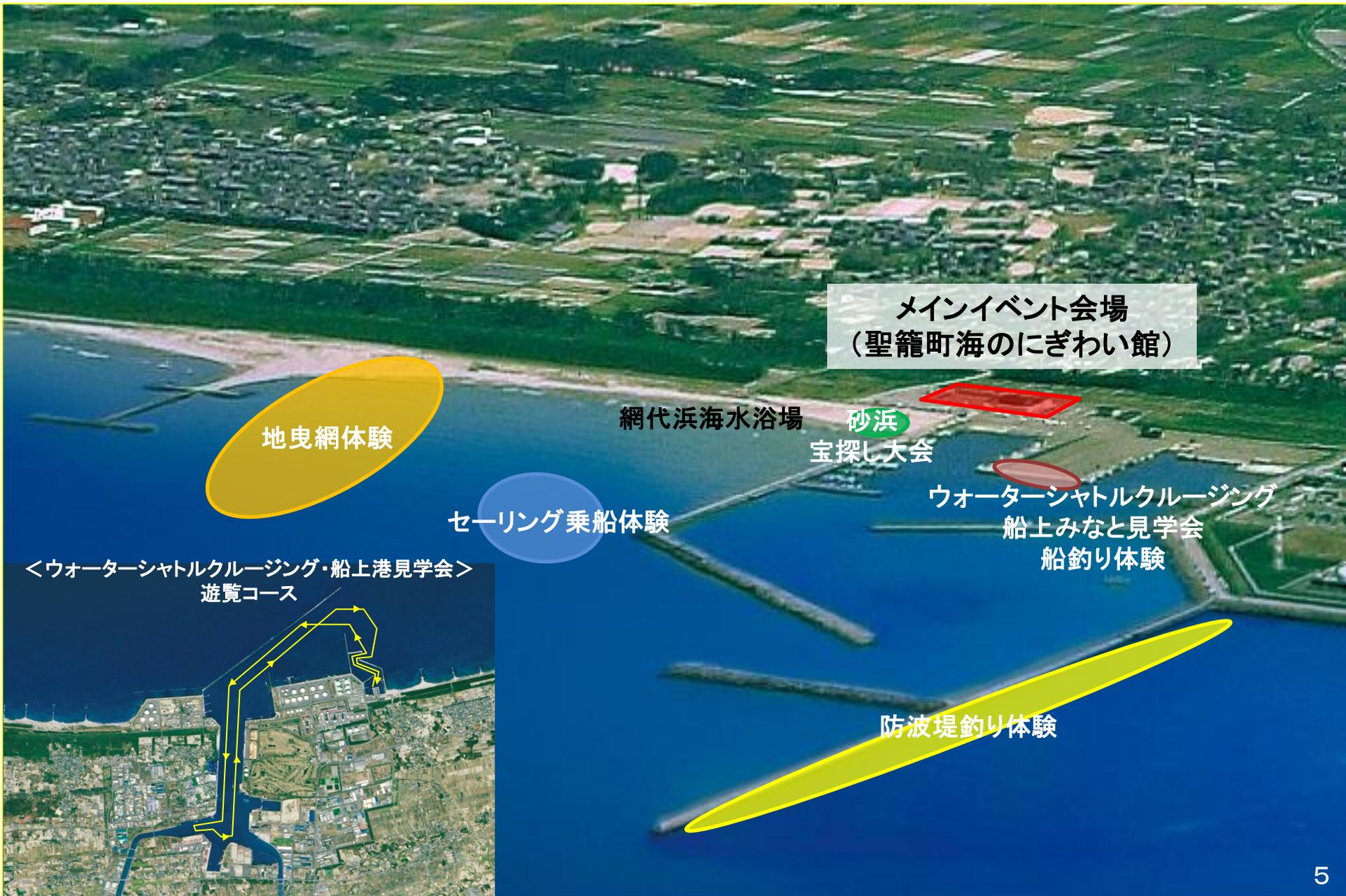
コーディネーター:国土交通省 北陸地方整備局
新潟港湾・空港整備事務所 阿部一男 氏

パネリスト:新潟県交通政策局 副局長 小池 慎一郎 氏
新潟トランス株式会社 生産センター長 保苅 清文 氏
聖籠町 道賀新田在住 澁谷 勘市 氏
聖籠町長 渡邊 廣吉

シンポジウムの実施状況



聖籠マリンフェスタ イベント配置図



メインイベント会場
(聖籠町海のにぎわい館)

地曳網体験

網代浜海水浴場

砂浜
宝探し大会

ウォーターシャトルクルージング
船上みなと見学会
船釣り体験

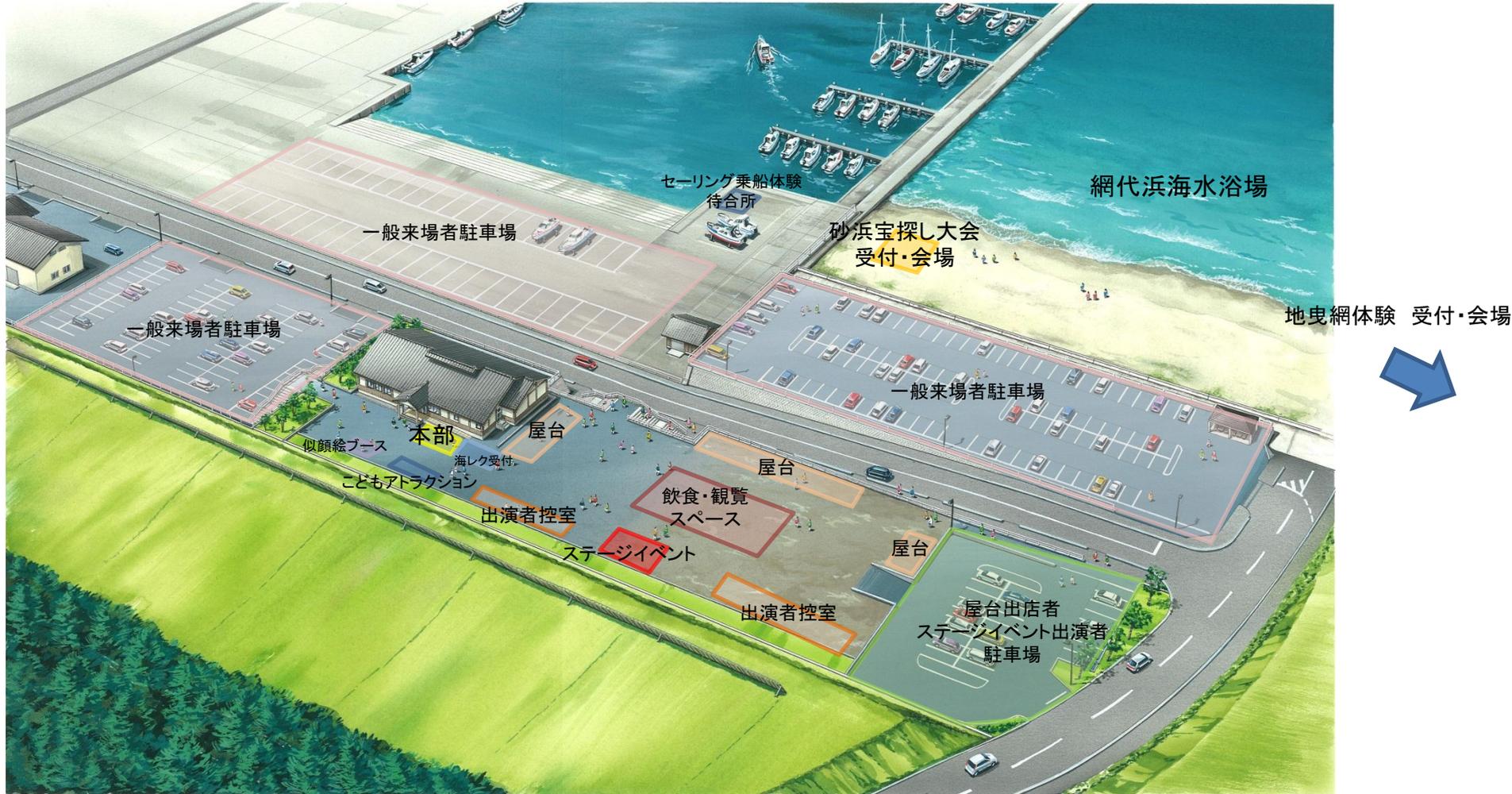
セーリング乗船体験

<ウォーターシャトルクルージング・船上港見学会>
遊覧コース

防波堤釣り体験

聖籠マリンフェスタ イベント配置図

ウォーターシャトルクルージング 受付・乗り場
船上みなと見学会 受付・乗り場



聖籠マリンフェスタの実施状況(その1)

①ウォーターシャトルクルージングin東港



②地曳網体験



③砂浜宝探し大会



④セーリング乗船体験



聖籠マリンフェスタの実施状況(その2)

⑤ステージイベント



⑥フラダンス・ハワイアンバンドの共演、タヒチアンダンス



聖籠マリンフェスタの実施状況(その3)

⑦こどもアトラクション(輪投げ・人形すくい・水ヨーヨー)



⑧グルメ屋台村



⑨同時開催イベント: 船上みなと見学会



⑩同時開催イベント:
日本海せいろうスタンドアップパドルボードコンテスト



広報活動

ポスター： 500枚掲示
 チラシ： 8000枚配付
 TV局： BSNへチラシとポスターを配付
 FM局： エフエム新潟 ⇒ イベントCM配信 計12回
 エフエムしばた ⇒ 生放送にて宣伝(2回)
 新聞社： 新潟日報へ棚入れ

ホームページ： 聖籠町及び関係団体のホームページへ掲載
 町広報誌： 広報せいらうへの掲載
 その他： チラシの町内全戸配布(マリンフェスタ、シンポジウム)
 近隣自治体・観光協会等へのチラシ・ポスター配付
 新潟情報7月号、街角こんぱす7月号、越佐みなと通信7月号へ掲載

シンポジウム、聖籠マリンフェスタに対するマスコミ反応

新潟日報(朝刊) 平成25年7月4日(木)

新潟日報(朝刊) 平成25年7月17日(水)

新潟東港整備着手
50周年シンポジウム
6日、聖籠

新潟東港が整備着手されて50周年を迎えたことを記念して、港の歴史などを振り返るシンポジウムが6日午後3時から、聖籠町民会館で開催された。

聖籠マリンフェスタ実行委員会が主催。第1部は、フリーアナウンサーの伊勢みずほさんが「聖籠の港や地域の宝を活か

宝ザクザク

聖籠町の網代浜で15日、マリンフェスタが開かれた。午前中の雨から一転、午後は夏の日差しが戻り、砂浜に埋まったカプセルを掘り出す宝探しやセーリング乗船体験など、家族連れらが夏の海を満喫した。

網代浜海水浴場脇にある海
洋レクリエーション施設「海
のにぎわい館」を拠点に、海
の魅力を体感してもらおう
と、町などが昨年からはじめた。
ことしは企画を大幅に見直
し、砂浜でのイベントを充実
させた。

宝探し大会には小学生以下
の子も40人が参加。15軒四
方の砂浜に埋められたフラス
コ製のカプセルを必死に
探した。なかなか見つからず、
手足を砂だらけにする姿があ
ちこちで見られ、発見した子
どもは「あったー」と歓声を
あげた。

新潟市北区の瀧川小1年、
本野陽晴君(6)は「見つける
のが大変だったけど、弟と一
緒に掘れて楽しかった」と笑
顔で話した。

会場ではこのほか、地引き
網体験や新潟東港内をウオー
ターシャトルで巡るイベント
などが開かれたほか、新潟田
村上、胎内各市と聖籠町のグ
ルメを集めた屋台村などが並
び、終日にぎわった。

写真＝砂浜での宝探しに興じ
る子どもたち(15日、聖籠町
網代浜)

心ワクワク



聖籠・網代浜

マリンフェスタ盛況

した町おこし」をテーマ
に講演する。第2部は、
渡辺広吉聖籠町長や新潟
港湾・空港整備事務所の
阿部一男所長らが新潟東
港の歴史と将来の在り方
についてパネルディスカ
ッションを行う。

定員は先着500人で
参加費無料。問い合わせ
は同委員会、0254(2
7)2111。

聖籠マリンフェスタ アンケート

<アンケートにおける主な意見>

○良かったという意見

- ・また来年も楽しみにしています。
- ・これから年々イベントが充実していくと楽しみです。
- ・楽しいイベントなので、もっとPRしてお客さんが増えると良い。
- ・毎年開催をお願いします。

○改善に関する意見

- ・梅雨時期を避けて行った方がよい。(海などが荒れない時期など)
- ・地曳網をするのに事前申し込みが必要なことを知らなかった。
- ・砂浜宝探しに参加できなくて残念でした。
- ・当日受付のイベントでは整理券を配るなどの配慮をして欲しかった。

<実施にあたり苦労した点(今後、各会員様が実施する上で注意していただきたい点)>

- ①事前予約が不要の体験イベントでは来場者が殺到したため、整理券を発行する等の対応が必要であった。
- ②マリンレジャー、マリンスポーツを核とするイベントであるため、天候・海象条件に影響を受けやすい。数日前から天候情報の確認や、中止の判断基準の明確化が必要となる。
- ③老若男女に飽きさせない工夫を施す必要がある。企画構成(イベント内容・時間の設定)や 多種多様な出演者によるステージイベント、グルメ屋台の設置など。